

北斎館の新規事業として、地域のクリエイターや農作物もふんだんに活用したギャラリー / カフェをプロデュース



MEDICOM TOY



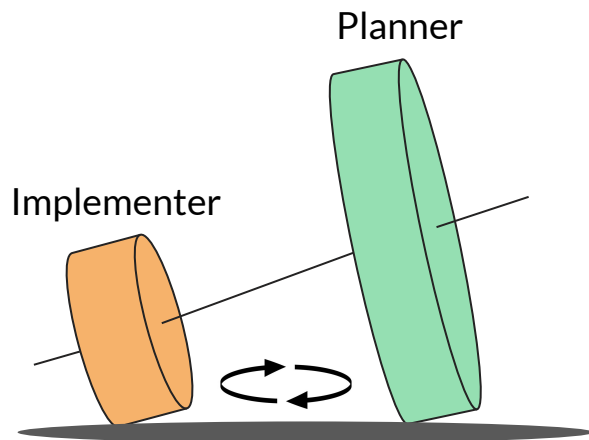
農と食の体験コンテンツを始めとする高付加価値ツアーの造成

2023年7月23日(日)
朝6:00-8:30
@小布施町内の畑



- 適度な自由度や裁量を持った「関わりしろ」
 - まずは、理想を高く掲げ、地域として外部に開く。
- 自治体や地域企業の「覚悟」「自分ごと化」
 - 当初の若者会議は、町外参加者の多様なアイディアを受け止めきれなかった。外部人材任せにしない、共創関係が重要
- 実現をサポートをしていく人材育成の仕組み
 - フィールドでしか得られない学び、やりがい
 - 徐々に町内プレイヤーの層も厚くなっていく

環境問題においても、口だけで理想を語るだけではなく、現場で社会やひとの多様性や変化に向き合い、理想を形にしていく人を増やしていく必要がある



- できることはメチャクチャある！
- でも、メチャクチャ人足らない！
- やってみるとメチャクチャ頭使う！

求められるのは「正しい解決策」以上に、創造性と合意形成のプロセス
⇒「知識」と「やりぬく力」に加えて、「ファシリテーション能力」が重要

KNOWLEDGE



活動する領域における
専門的な知見
(環境・エネルギー等)

FACILITATION



多様な意見の中から、
新たなビジョンを描き、
人を巻き込んでいく力

GRIT



ビジョンを具体的に落とし、
頭と手を同時に動かして
最後までやりぬく力

みんながやりたいことに、自分の想いを載せて。
「あったらいいな」を実現する、
まちづくりの推進役になろう。

第5期生募集中！

@長野県小布施町

2025年2月開講！

一次締め切り：12月26日（木）



APPLY NOW →

様々なステークホルダーとの対話を設計し、プロジェクトを前に進める力としての
「ファシリテーション能力」の重要性を痛感。この講座は実行者のためのファシリ講座！



STEP 1 まちの声に 耳を傾ける

まちにおける様々なステークホルダーと対話を重ね、その中で生まれる多様な意見を聴くこと。



STEP 2 自分の想いを 重ね合わせる

中立的に皆の意見を聴くだけでなく、ファシリテーター自身が「自分のやりたいこと」も載せる。



STEP 3 「あったらいいな」を創 造する

一人ひとりが見ている世界が異なる中で、みんなの思いを重ね合わせて、より良いまちの在り方を探求していく。



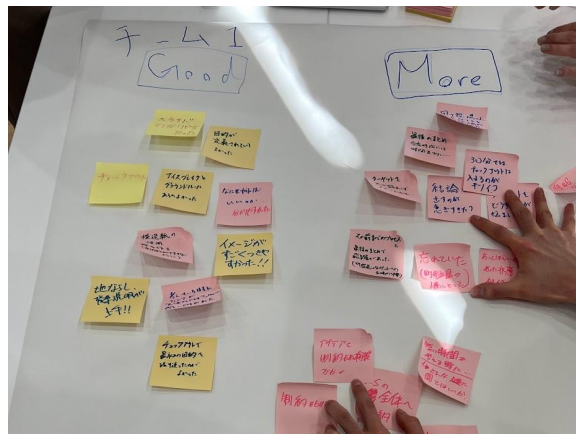
STEP 4 社会の中で 理想を形にする

対話だけでなく、自分でも手を動かしつつ、他者も巻き込んで、プロジェクトを前に進めていく。

まちづくりファシリテーターの「キホン」として、3つの要素を体感していただきます。受講後、現場での実践を繰り返すことで学びを深めることも大切です。



Basic Skill 1
ワークショップや対話の設計



Basic Skill 2
コンサル流プロジェクト進行術



Basic Skill 3
**「インプロ」を用いたコミュニケーション
と場づくりのテクニック**